

マテリアリティ

■ NTNを取り巻くリスクと機会

当社グループは、世界的な潮流であるカーボンニュートラル、その達成に向けて加速する電動化や、労働力不足、人権問題など事業環境ごとにリスクと機会を分析し、マテリアリティに沿った対応策を講じています。外部環境の激しい変化に対応するため、想定されるリスクと機会の定期的な見直しを進めています。

NTNを取り巻く事業環境		リスクと機会	発現時期			影響度	主な対応策	マテリアリティ
			短	中	長			
パラダイムシフトへの対応	次世代モビリティの普及	機会	自動車メーカーの内製 CVJ の外作化に伴う当社需要の拡大	●	●	■ ■	● 課題解決力・提案力をベースとしたお客さまとのパートナーシップの深耕	3
			EV 向け高機能商品の需要拡大		●	● ●	● EV 向け次世代モビリティ・モジュールの提供 ● 当社のシェアの高い CVJ、アクスルの高機能化による利益の拡大	3
		リスク	EV 向け高機能開発に伴うコストの増加		●	● ●	● EV 向け高機能商品の生産集約（和歌山製作所）	3
			1 台あたりに使用されるベアリング総数の減少		●	● ●	● アフターマーケット比率の向上（2035 年度：40%）	3
			モーターやバッテリーなどへの価値集中による CVJ、アクスルへの費用配分の減少	●	●	●	● 付加価値の高い EV 向け商品の供給やコストの低減に寄与する技術的な仕様変更などの検討	3
	脱炭素社会の進展	機会	電費（燃費）改善ニーズの高まりによる高機能商品の需要拡大	●	●	■ ■	● 軽量、高効率なドライブシャフト、低フリクションハブベアリングの提供	3
			風力発電向け大形軸受の需要拡大	●	●	■ ■	● 風力発電向け大形軸受の販売拡大	2
			状態監視（CMS）サービスの需要拡大	●	●	■ ■	● CMS の販売拡大	2
			機械装置の省エネルギー化要求の高まり	●	●	■ ■	● 基盤商品による CO ₂ 排出量の削減 ● 独自の環境対応商品の開発による競合他社との差別化	3
			軸受再生ビジネスの拡大	●	●	●	● 取引先さまとの協業検討	3
			水素エネルギー関連装置向け軸受などの技術開発の加速		●	● ●	● 水素関連商品の開発	2
		リスク	カーボンニュートラル目標達成による商品の採用拡大と企業価値の向上			●	● エネルギーロスを極限まで低減する商品・サービスの開発・提供	1 3
			省エネルギー化のための設備投資や再生可能エネルギーへの切り替えなどによるコスト増加	●	●	■ ■ ■	● 予算枠を設定し、事業計画に反映	1
			カーボンニュートラル目標未達に起因するお客さまとの取り引きの減少		●	● ●	● グループ全体でカーボンニュートラル推進活動の実施	1
			炭素税導入などによる調達や操業のコスト増加		●	● ●	● インターナルカーボンプライシングの運用	1
	AI・IoT の普及	機会	デジタル技術の活用による生産性向上	●	●	■ ■	● スマートファクトリー化による強い QCD の実現 ● デジタル技術の活用による開発期間の短縮	6
			軸受のセンシング需要の高まり	●	●	■ ■	● CMS 技術などによるサービス・ソリューションの提供 ● 「しゃべる軸受」の開発（＝軸受のセンサー化）	3
		リスク	デジタル技術活用の遅れによる競争力の低下	●	●	●	● IT ガバナンス強化のための体制構築 ● デジタル人材の育成、獲得による組織強化	6
			コンピューターウイルス・サイバーテロの脅威増加	●	●	●	● セキュリティ対策のグローバル展開 ● サプライチェーン全体へのセキュリティ対策拡大	6

マテリアリティ

NTNを取り巻く事業環境	リスクと機会	発現時期			影響度	主な対応策	マテリアリティ
		短	中	長			
持続可能な社会への対応	機会 高品質、長寿命商品の需要拡大	●	●		■ ■	●長寿命商品の開発と提供	3 6
	リスク 環境規制の強化によりこれまで使用できていた物質が使えなくなるリスク	●	●	●	■ ■ ■	●規制動向の把握 ●禁止物質の切り替え管理	5
	機会 防災機器の需要拡大	●	●		■ ■	●再生可能エネルギーを活用した独立電源装置をベースとする街灯、防災倉庫、災害用トイレ、充電ステーションなどの提供	4
	リスク 自然災害による自社工場およびサプライチェーンの操業停止	●	●	●	■ ■ ■	●BCPの策定、NTNグループにおけるBCP訓練 ●協力メーカーの再編とサプライチェーンの短縮	7 8
	工場など従業員の熱中症リスク	●	●	●	■ ■	●労働安全衛生マネジメントシステムの適切な運用推進	8
	機会 健康経営の推進などによる従業員の満足度向上	●	●		■ ■	●働き方改革の推進	11
人口動態の変化	リスク 人権デューデリジェンスの実施に対する社会的要請の高まり（ソフトローからハードロー化）	●	●	●	■ ■	●人権デューデリジェンスの推進 ●サステナブル調達アンケートの実施 ●お客さまからの紛争鉱物調査への対応	9
	機会 生産現場の自動化、効率化、省人化に向けたソリューション（ロボット周辺モジュールなど）の需要拡大	●	●		■ ■	●i-WRISTなどの省人化課題に対応したロボット周辺モジュールの提供	4
	設備の省人化の進展による生産性の向上	●			■ ■	●自動化技術開発・適用によるライン作業の自動化、省人化	4
	リスク サプライヤーの廃業	●	●	●	■ ■	●サプライヤーとの対話を通じた事業継続のサポート	7
	必要な要員が確保できず操業できなくなるリスク		●	●	■ ■ ■	●拠点集約、自動化・省人化による持続性の確保	10
	機会 人々の健康に寄与する商品・サービスの需要拡大		●	●	■ ■	●ライフサイエンス分野における微細塗布装置の活用	4
	機会 新興国の経済発展、インフラ需要の拡大などによる販売機会の拡大		●	●	■ ■ ■	●品揃えや在庫の拡充 ●アフターマーケットの開拓 ●OEM・アフターマーケットで一体となった販売戦略	6
	新興国の成長	●	●	●	■ ■	●コスト上昇分の価格転嫁 ●自動化、省人化投資によるコスト高抑制	6
	リスク 知的財産権の侵害	●	●	●	■ ■	●模倣品対策の強化	6
	新興メーカー参入による従来品の価格競争の激化	●	●	●	■ ■ ■	●コスト低減に寄与する技術的な仕様変更などの検討	6
不透明な世界情勢	機会 アフターマーケットでのNTNブランド価値の向上	●	●	●	■ ■ ■	●汎用品の効率的な供給 ●グローバル販売網の最大活用	6
	リスク 関税コスト増加による利益の圧迫	●	●	●	■ ■	●生産地変更、現地化によるコスト高抑制	6
	地政学リスクによる生産拠点の操業停止		●	●	■ ■ ■	●BCPの立案とBCPに基づく定期的な訓練の実施	8
	地政学リスクによるサプライチェーンの不安定化		●	●	■ ■	●調達改革によるグローバル&現地調達ベストミックスの実現	7
	リスク 生産需要などの急減	●	●		■ ■ ■	●コスト上昇分の価格転嫁 ●固定費削減など	6
	エネルギー調達コスト、原材料調達コストの上昇	●	●		■ ■ ■	●コスト上昇分の価格転嫁 ●設計基準見直しによる購入費減など	6